

2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<ul style="list-style-type: none"> ◇資料への導入を行う。 ○事前アンケートの結果を提示し、学級の実態を把握する。 ○「情報機器を使って何か嫌な思いをしたことや心配なことはありませんか？」と発問し、今日のテーマであることを伝える。 ・オンラインゲームで悪口が飛び交う。 ・知らない人と繋がってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報機器を所持しているか」を事前アンケートする。 ・発問を通して、今日のテーマに繋げる。
展開前段	<ul style="list-style-type: none"> ◇資料「気に入らなかった写真」の範読を聞く。 ・登場人物の確認 ○感想交流を行う。 ・お姉さんは決して悪いと思って写真を載せた訳ではないのに、友達から怒られて困っている気持ちがわかるなど思った。 ・お姉さんはどんな気持ちでネットに載せたのか疑問に思った。 ◇主人公の気持ちを話し合う。 ○お姉さんはどんな気持ちで写真を載せたのでしょうか？ ・友達が喜んでくれたら嬉しいな。 ・たくさんの人に楽しかったことを広めたい。 ◎お姉さんはこの後写真をそのまま残すのか、それとも写真を削除するのか、どちらでしょう？ <写真をそのまま残す> ・由衣ちゃんみたいに喜んでくれている人がいる。 ・里菜ちゃんだけが嫌な思いをしているだけだから。 ・たくさんの人が喜んでくれるのはいいこと。 <写真を削除する> ・里菜ちゃんが嫌な思いをしているのはよくない。 ・次、学校へ行ったとき気まずい雰囲気になる。 ・他の友達には事情を説明すれば納得してくれる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>深めの発問 では、みんなが嫌な思いをしないためにどうしたらよかったですでしょうか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・投稿する前に友達に確認するべきだった。 ・自分の気持ちだけ考えてはいけない。 ・投稿してからでは遅いから、事前にいろいろなことを確認するべきだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物を確認する中で、今日は「お姉さん」の気持ちの変化に着目して考えるように伝える。 ・自分の気持ちを優先して行動していることを確認する。 ・赤白帽子を用いて、自分の立場を明確にした上で話し合うことができるようにする。 ・全体交流で話し合う場面を位置付けるが、場合に応じて3人交流で話し合う場面も位置付ける。 <補助発問> ○どちらの立場でも、周りの人たちはどんな思いをするかな？ ・嫌な思いをする。 ・お姉さんと気まずい雰囲気になる。 →どちらでも嫌な思いをすることに気付かせる。
展開後段	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の生活を振り返る。 ○自分の行動に責任をもつために、どんなことを大切にしているかとよいでしょうか？ ・自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちを考えて行動することが大切。 ・誰一人として嫌な思いをさせないことが責任ある行動だと思うから、周りの人の気持ちを考えて行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導の中で、1人1人が考えをもてるように、見届けを行う。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ◇教師の説話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用する上での、注意事項について説明する。 (肖像権、著作権、デジタルタトゥーなど) →法律などを正しく認識し、使用することの大切さに気付かせる。